

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
1	7	2 宇検村の現状 自然災害・安全リスクの増加	・感染症流行の危険 → 新興感染症への危険	無	新型コロナ以外にも、過去に流行した「はしか」等、海外で流行しており、海外への渡航者から感染者が発生していることから、広い定義で感染症の流行としています。
2	9	2-2 将来人口目標について ・図表2-1-41	国立社会保障・人口問題研究所が出してるグラフに、宇検村の目標値も挿入してはどうか。図表なら目標値が一目で分かるから。	有	将来人口目標値が分かりやすいように表記いたします。
3	10	2-3 第2次総合戦略の検証と 庁内ワーキングおよび事業者 ワークショップから	・第2次では、基本目標の実現に対して数値目標を設定していたが、その数値目標をクリアできたのか。しっかりとした裏付けのある検証結果があつてこそ、次の基本目標や数値目標ができるのではないか。10ページの内容は具体的評価があまりにも乏しい。	無	総合戦略の構成上、意見の概要の表記とさせていただきます。
4	12	本村の基本目標 3	結婚・出産・子育てにおける地方格差解消とはどういうことか	無	都市部と比較としての格差の解消図りたいと考えています。 例えば医療に関しては離島では受けれない高度な医療を受けるための支援を行うことにより格差を解消するため下記の事業を実施しています。 （例） ハリスク妊産婦出産支援（島外への旅費助成） 不妊治療助成（旅費・医療費） 離島地域子ども通院費助成（旅費助成）
5	14	プロジェクト①仕事の多職 化・魅力化プロジェクト	○ たくさんの職種で会計年度職員を募集しているが、不足しているのが現状。はたらきたいけど「子どもが小さいから」「一日働くのは家のこともあるからできない」などの理由も考えられる。遅出の10時から勤務や早退の15時まで勤務などパートタイムでの勤務でできないのか。収入のためにフルタイムで働きたい人もいるため、不足している職種だけでもできないか。 ○ シマでは当たり前やありふれているものでも都会や愛用者にとっては価値あるものがあるかもしれない。大量生産は無理でも希少性で収益につながれば雇用が生まれる。	無	○職種ごとの業務内容によって必要な勤務時間（7.5時間）を設定しており、設定時間に合わせて採用人数を決定しています。 不足する職種については応募者側の希望時間内での採用も行っているところですが、短時間勤務採用の場合、村民の皆様に十分なサービスが提供されるかなどのいくつか課題もあるため今後も検討を重ねたいと思います。 ○シマの価値が新たな仕事の創出につながるよう努めて参ります。
6	14	プロジェクト②宇検村観光立 村推進プロジェクト	○ 宇検村でお金を使ってもらう仕組みが必要。「名瀬に宿泊しレンタカーで観光し屋仁川で飲む」では宇検村でお金を使う機会が少ない。タエン浜は監視員が付く夏季は、村外利用者のシャワー有料、村所有のカヤックを有料レンタルや売店など。宿泊施設がとれない時期もあるので、民泊受け入れ可能な村民をリスト化し、地域住民との交流を通して集落にお金が入るようにするなど。 ○ 船でしか行けないきれいな砂浜があるのではないか。そういう場所を日帰りやキャンプなどで活用できないか。	無	○宇検村観光物産協会と協同で、観光産業の発展に向け、取り組んで参ります。 ○宇検村観光物産協会と協同で、観光産業の発展に向け、取り組んで参ります。

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
7	15	プロジェクト①うけん観光振興プロジェクト 観光施設等整備事業	公園等の整備に関しては、自然環境に配慮した観光づくりを進めていってほしいです。特にマングローブ植林に関して、もともとマングローブがなかったところに植林していると聞きました。周りの動植物に与える影響が懸念されます。観光施設等の整備に関しては環境アセスメントを入れるなどして、もともと自然豊かな宇検村がそこにおごることなく足元の自然環境をしっかりと守りながら利用していくことが大切だと思います。	無	整備にあたり植生、土壌、DNA解析など各分野の専門家による調査を行っており、今後も追跡調査を行いながら、豊かな環境の「保全」と「利用」のバランスの取れた施策を推進してまいります。
8	15	プロジェクト①うけん観光振興プロジェクト 国際サシバサミットの開催及びサシバ観察会事業	国際サシバサミットは一大イベントではありますが、サシバのみならず、多くのサシバが越冬を支えることができることができる餌の豊富な（多様性豊かな）村であるということが大切なことだと思います。5か年計画ではサシバだけでなく多くの村民に自然環境に対する意識を高めることを総合的に組み込んでほしいです。また、サシバ観察会は教育委員会の子ども世界自然遺産博士講座の中の事業ではないのでしょうか。今後企画観光課で進めることになるのでしょうか。博士講座は子供向けですが専門家も招聘しとても有意義なプログラムですので、一般の大人も聴講できるようになるといいと思っています。企画観光課と教育委員会と協力しながら宇検村全体の環境意識の醸成に尽力していただきたいです。	無	サシバを環境保全の指標として、世代を問わない全ての村民が理解しやすい形で、世界自然遺産を含む環境保全の意識向上に取り組んでまいります。
9	16	プロジェクト②移住・定住推進プロジェクト 親子山村留学事業の拡充	阿室、名柄校区だけでなく、田検校区の児童生徒数も減少している中、田検校区での山村留学の要望は調査されているのでしょうか。また、児童生徒数が安定している今後5年安定的であろうと予測されている久志校区についても要望の汲み取りは必要だと思います。住民主体で声をまとめることは困難だと思いますので、村全体で定期的にアンケート等実施し、学校の存続について要望をくみ取ってほしいです。	無	現在、2校区で親子山村留学を実施しておりますが、それぞれの各校区の事情などもあると思いますので、今後、校区住民及び保護者などから声があれば検討して取り組んでまいります。

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
10	16	プロジェクト②移住・定住推進プロジェクト 個人事業者等移住支援事業	①コワーキングスペースの設置安定した通信環境と電源設備が整った施設を作ってほしい。 （Wi-Fi電源完備、プリンターやフリードリンクなどがあると良い） 【理由】この施設があることでリモートワークが可能な長期滞在の島外からの来訪者増え、宇検村の認知につながる。（コワークスペース情報共有サイトなどに掲載しておく、それを目的として来る人も一定数いる。）コワーキングスペースの利用者同士のつながりで、新たな事業や企画等のアイデアも生まれる可能性がある。 また、私自身個人事業主のIターン者でリモートワークやPC作業も多いので、自宅以外の場所で集中して仕事ができる環境が欲しいと常々考えている。 →集中して作業したい時に個人的によく利用しています。設備が整っていて施設からの眺めも良くて快適に作業ができます。 ②小規模・個人事業主が宇検村内で新規起業する際の補助金や助成金の制度があると嬉しい【理由】現在宇検村の補助金や助成金は主に第一次産業や物産品の開発関係に対しては多く支援がされているが、それ以外のサービス産業や観光業に対しての支援がなく、新たに雇用を産む機会が生まれにくく、かつ宇検村で自立した生計を立てたいと思っている定住希望者の弊害になっていると感じる。他の項目で観光産業の促進についても触れているが、地域の特産品だけでなく、エコツアーガイドなど無形サービスを提供している事業者に対しての活動支援があっても良いのではないかと感じている。 宇検村に移住したいと希望していても仕事の選択肢が少ないのであれば、自分で事業を興そうとして人に対しての支援をし、能力や意欲のあるU・Iターン者を受け入れやすい環境づくりをすることで、村の活性化に通じると考える。	無	起業支援について、検討し経済活性化を図って参ります。

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
11		プロジェクト②移住・定住推進プロジェクト	○ 島外や県外からの移住を勧めることも必要だが、近隣市町村からの移住を勧めるのはどうか。宇検村は、近隣市町村に比べて子育て支援が充実している。給食費無償・英検補助・スポーツ振興遠征費補助・修学旅行費補助・環境教育ややけうちこなどの体験学習、七ヶ宿交流など。 その点をしっかりと周知し、宇検村から各職場に通ってもらえば各学校の児童生徒数も増え、その分大人になってからも宇検村に住む人が増えるのではないか。近隣市町村から宇検村に通っている人も多いので、可能ではないか。困るのは買い物ぐらい……。名瀬に仕事に行った帰りに買い物して帰ってくれば問題ないように思う。転入教職員にも学校職員や教育委員会から子育て支援の充実度を伝えれば、子育て世帯でも単身赴任や村外居住ではなく宇検村を選ぶ人もいると思う。私は、宇検村に住んでよかったと心から思っています。宇検村の良さをもっと大人が自信をもって広めることも周知につながると思います。 ○ 小さい学校の良さを発信する。名瀬の大きな学校では本土と同じようなことができるが、逆にシマらしさの教育は難しい。もちろん大人数の良さもあるが、小さいからこそできることや学ぶことがある。田検中のブログを見て「いいな、おれも田検中に通いたい」と言っていた村外中学生もいる。親子山村留学については、今いる児童生徒が迷惑を受けないようにしてほしい。不登校生や障がいがある児童生徒を否定する訳ではないが、安易に受け入れてしまうとそれに対応する教員は、今いる児童生徒と関わる時間は確実に減り不満を募らせることが考えられる。 ○ 奄美大島は、杉がなく花粉症の症状がほとんど出ない。花粉症の自分にとっては快適な場所である。花粉症に悩まされている人にとって奄美大島は魅力的な場所であるが、それを知らない人がほとんどだと思う。そこで、この事実を発信し2月～4月までの短期で移住を受け入れるのはどうか。体験することで定住につながるかもしれないし、出会いが生まれ結婚につながるかもしれない。	無	○ご意見のとおり、ふるさと納税や移住など、島内をターゲットにした施策を講じてまいります。 ○ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 ○おためし移住の仕組みづくりに取り組んで参ります。
12		プロジェクト①子育て支援プロジェクト	○ 子育て支援については、経験上ほかの市町村よりも充実していると感じるが、その良さを大人がまだ分かっていないように感じる。ほかの市町村のことを知ることで宇検村の良さを再認識できるのではないか。 ○ 雨天時に遊べる屋内施設があったら非常にうれしい。弓道場を改修して利用できないか。充実できれば村外からの利用者也出てくると思う。また、村体育館前や駐車場は街灯がなく暗くて危険、安全面や防犯面からも街灯があった方がよいと思う。	無	○SNSでの発信など宇検村の良さを広く知っていただけるように検討していきたいと思います。 ○現在、保健福祉課ではエアー遊具を購入し、保護者に運営をお願いしやけうちの里で試験的に実施しています。（R 6、2回実施） また、社会体育施設及び運動公園の再整備検討委員会で運動公園一帯の再整備計画を検討している最中ですので、今後の参考とさせていただきます。
13	17	プロジェクト①子育て支援プロジェクト 島内高校通学者へのバス定期補助の継続	・島内高校通学者へのバス定期補助の継続 →利用者数10人/年（月）	有	ご指摘いただいたとおり修正させていただきます。

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
14	17	プロジェクト①子育て支援プロジェクト 島内高校通学者へのバス定期補助の継続	バス定期の補助は保護者の負担軽減になっていると思います。しかし、この補助事業の目的はUターンを図るためのものであるようですので、高校で寮生活を送った子どもとバス通学ので通った子供のUターン率に有意な差があるかどうか調査が必要と思います。有意な差があるとするならば、村民へ情報を公開し村民へ理解を得ることも必要ではないでしょうか。 特に差がないとするならば高校時代を宇検村で過ごすということより、もっと他の理由でUターンしていると考えられますので、そちらに力を入れた施策が必要と思います。また、保護者の負担軽減のために寮に入らずバスで通学することを選択した子どもの通学時間への負担は相当なものだと思います。子どもがバス通学でも寮でも、下宿でもどのような通学方法を選んだとしても、遠隔地からの高校進学への負担を減らし高校生活を送れるようご尽力お願いいたします。	無	ご指摘のあったUターン率の調査公表や、遠隔地からの高校進学への負担を減らし高校生活を送れる方策についてはこれまで十分に検討がなされていないのが現状です。 今後は、社会経済情勢や村民のニーズに的確かつ柔軟に対応できるよう、関係課が連携し必要に応じて助成内容及び実施体制の適正化や総合戦略の改定について検討していきたいと思います。
15	17	プロジェクト①子育て支援プロジェクト 学童保育設置事業	・学童保育設置事業 →利用者数20人/年（月）	有	ご指摘いただいたとおり修正させていただきます。
16	17	プロジェクト②学びの選択肢を増やすプロジェクト 英語教育支援事業	放課後の学習の選択肢を増やすということで計画されているという前提でコメントさせていただきます。 学ぶ機会や選択肢を増やすことは素晴らしいことだと思いますが、まずは学校教育の充実が必要です。中学校には各教科専任の教員の配置をお願いしたいです。（せめて主要5教科は専任の先生を確保していただきたいです。）県費職員で賄いきれない分、村は学校に人員と予算を組んでいただきたいです。まずはそこからへき地の教育格差の解消をお願いします。 英語教育支援について、現行のALTや小学校英語教員の加配、英検の受験料の補助などありますが、不十分であるという認識のもと英語教育支援を計画されていると思います。なぜ、英語だけなのでしょう。宇検村の子どもたちの学習状況を分析していただいて、必要な教科が何であるかどのような力をつけさせたいのかしっかりと議論もされていないと感じます。 子どもに英語の力をつけたい家庭では、すでに民間の英語教育を利用したりしています。 たまたまいる人材を活用しようという行き当たりばったりの計画で教育を推し進めるのは不安を感じます。学校現場に入るにしても、放課後の英語教室的なものを行うにしても、公的機関が行う以上、村内のすべての対象幼児や児童に対し平等に教育が行き届くよう、学校現場と連携を取りながら教育課程に寄り添ったきめ細やかな学習計画の元、子どもたちにとって有意義な機会になるようお願いします。	無	英語教育支援事業に関しては子どもたちが英語を自然な方法で学び、コミュニケーション能力を育むことを目指し、難しい発音を早い段階で習得して、楽しく実践的に学習することが目的としています。 これまで、保育所のきりん組を対象に試験的に運用してきました。保護者や保育士の意見、園児の反応を見て実施することになりました。 いただきましたご意見はについては、事業実施において、参考意見とさせていただきます。
17	17	プロジェクト②学びの選択肢を増やすプロジェクト オンライン塾	英語教育支援事業の欄でも述べたように、まずは学校教育の充実をすることが先であると思います。 そのうえ、本来は各家庭の判断で利用している塾を公的機関がする必要があるのか、メリットだけでなくデメリットにつついても十分検討をしていただきたいです。	無	総合戦略は、村の施策の方向性について記載しております。いただきました具体的な取り組みについてのご意見は、事業実施において参考意見とさせていただきます。

第3次 宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメントに寄せられたご意見に対する本村の考え方について

番号	ページ	項目	意見の概要	修正有無	本村の考え方
18	17	プロジェクト②学びの選択肢を増やすプロジェクト 職場体験プロジェクト	職場体験は学校現場でも行っている教育活動です。今はオンラインで島外の大きな企業の職場体験もしています。宇検村の子どもたちに広い視野を持って将来の選択をしてほしいという思いは共感できますが、学校教育で行う職場体験との違い、わざわざ島外へ行き体験する意義など生徒、保護者、学校へ理解と協力をしっかりと得てほしいと思います。また、多くの村民にとっては、将来子どもたちには村に帰ってきてほしいという思いがあると思いますが島外へ目を向けさせようというこの事業の趣旨について、村民へ対してももっとよう理解を得ることが必要と思います。	無	ご指摘のとおり、職場体験は学校においても実施されている教育活動です。しかしながら、ご存じのように、村内の規模では職種が限られているのが現状です。 本事業の趣旨は、子どもたちに島外へ目を向けさせることではなく、多様な職種や技術に触れる機会を提供し、それらを宇検村でどのように活かせるかを考えてもらうことにあります。 このことについては、これまで生徒、保護者に十分説明を行って来ました。 また、今回受け入れていただく企業の中には村出身の関係者もあり、関係人口の構築にもつながっています。さらに、子どもたちが安心・安全に体験できる環境が整っていることから、本事業は有意義なものと考えております。
19	18	プロジェクト①安心の住まいプロジェクト（新規）	○ 高齢者の買い物支援については、公用車の電気自動車を活用した買い物代行（ガソリン高騰・CO2削減のため）や生協負担金の一部補助などはいかがでしょうか	無	地域公共交通の利便性を図り、医療・商工・教育などの充実に繋げてまいります。
20	18	プロジェクト①安心の住まいプロジェクト（新規）	・危険廃屋解体撤去補助事業 ・空き家改修事業 ・民間賃貸住宅補助事業も挿入してはどうか	有	ご指摘いただいたとおり事業を追加させていただきます。